

プロジェクト名	私の好きな有名人
タイプとレベル	「ライティングと文法」 A1～A2、 「リスニングとスピーキング」 A1～A2
期間	授業の後半 30 分を 2 回+2 週間後に提出する宿題
対象者	週 2 回 1 年間ドイツ語を学習する大学 1 年生（夏休み直前頃から実施可能）
計画面 <small>（課題、目的、学習対象、利用可能なツール、技術的な前提、進行プラン例）</small>	<p>課題 : 著名人を誰か一人選んで調べ、他人の知らない情報を含むその紹介文を出典とともに書く。</p> <p>目的 : 1) すでに使えるようになった自己紹介の表現を利用して、身の回りの誰かを紹介できるようになる (A1～A2 レベルの writing)、2) 主語が 3 人称の場合も文が作れるようになる、3) ドイツ語の発音に慣れる、4) finden を用いた主観的な価値判断の表現をマスターする。</p> <p>利用可能なツール :</p> <p>学生: スマートフォン、読み上げ機能のある各種ソフトウェア (Google 翻訳, Acapela Box, TTSMP3.com Free Text-To-Speech and Text-to-MP3 for German, Free online Text To Speech (TTS) service with natural sounding voices, Text to Speech Reader : German male voice, German Text-to-Speech Service, TEXT TO SPEECH ONLINE TEXT TO VOICE ROBOT, TEXT2MP3)、各種学習管理システム (FLIPGRID, Facebook、Bb9, moodle 等)。</p> <p>技術的な前提 CALL 教室等が使えるれば望ましいが、最低限、教員用 PC が 1 台ネットに接続でき、その画面を提示できれば良い。勤務先の大学に学習管理システムがあれば望ましいが、無い場合は、SNS を限定公開モードで使う。</p> <p>プロジェクト進行プラン</p> <p>① 準備: 1) 自己紹介に関する表現 (挨拶、<u>名前</u>、<u>出身</u>、<u>住んでいるところ</u>、<u>身分・職業</u>、<u>専門</u>、<u>習っている言語</u>と話せる言語、好きな食べ物や飲み物、趣味 [得意なスポーツ・演奏できる楽器・好きな音楽・その他]、家族や友人の紹介、今したいことや自分の夢、<u>自己紹介の締めくくりの言葉</u>) を書いたり発話したりできるよう、少しずつ扱っておく。</p> <p>2) 文法的には、不規則動詞や発音上の変則のある動詞を含む 3 人称の活用、様々な副詞的表現 (gern/ (sehr) gut/ ein bisschen/ etwas/ nur/ auch/ nicht)、定冠詞/不定冠詞・否定冠詞ならびに所有冠詞の 1/4 格を扱っておく。</p> <p>① 第 1 週: PowerPoint で誰もが知っている著名人 (俳優、タレント、芸人、スポーツ選手、政治家、歴史上の偉人等) の顔写真を複数表示する。その一人を指さし、Wer ist das?、Was ist er/sie von Beruf?、Woher kommt er/sie?、Wie alt ist er/sie etwa/ungefähr?、Was macht er/sie gern?等と質問し答を言わせていく?その後 4～6 人の各グループに別れてクラス全体で、</p>

その中の誰かについて、一人一文ずつ 口頭で説明させていく。次に、クラス全体でやる作業として、誰か一人について説明するという課題をグループごとに当てていく。その際、その人について、自分だけが知っている情報をドイツ語で言える人が誰かいないかクラス全体に聞いてみる。最後に、finden を使いそれらの人に対する主観的な判断を各グループでお互いに言わせる。

② 著名人を誰か一人選んで調べ、他人の知らない情報を含むその紹介を書いて。学習管理システム (LMS) のフォーラム欄に2週間以内に投稿するという課題を説明する。その際、誰を取り上げて良いが、誰もが知っている情報しか書かないというのは意味が無く、クラスの他の人や教員が知らないような情報を必ず書き込むよう指示する。その際、その情報の出典 (例: URL 等) も末尾に書いておくよう指導する。また最後に finden を使って、その人に対する自分の主観的な評価を書くようにさせる。

③ 作文の際には、原則として習った表現の枠組みを使うことを推奨し、どうしてもそれ以外の表現を使う場合は、次の原則を守らせる。

- ・新出の単語を使うときは、最後の行に「新出単語」として当該単語とその日本語訳を註の形で付ける。
- ・新出の表現や文型を使うときは、その表現を二重引用符で囲んだものをキーワードとして Google 検索を行い、実際の使用例があるかを確認してから使う。
- ・新出の単語や表現を使って良いのは、原則3回までとする。

④ 第2週: 学生は、4人~6人のグループ作業で、宿題として書いてきた紹介文をお互いに紹介し、グループ内で直す。不安のある部分は、机間巡視している教員に尋ねる。

⑤ 直した作品は、LMS の Forum ページにいったん投稿する。次の課題として、投稿された他人の紹介文を読み、その中で共感した作品を2つ選んで、書かれている内容に対するコメントや質問を、一言で良いので自由に書き込む。自分の紹介文に対してコメントや質問が書き込まれた場合は、速やかに、再コメントや質問への答を書く。

⑥ 教員は、音声読み上げソフトの使い方を実際にデモしながら、学生に使わせ、自分達の書いた作文のドイツ語模範音声を聞かせる。その際、日本語の名前や表現は、あらかじめ、同種のドイツ語表現に変えておくと全体をなめらかに読見上げてくれるなどの裏技も教えておく。

	<p>⑦ 宿題として、学生は自分の書いた著名人の紹介文を、スマートフォンを使って録音する。録音した音声は別途 LMS に投稿する。教員は、投稿された紹介文をチェックし、発音に問題がある場合は個別に指導する。</p> <p>⑦ 最後に「私の好きな著名人」と題した LMS のページにテキストと音声の両方を投稿させる。</p>
<p>ポイント</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1) 本プロジェクトの前に、自己紹介などをテーマとした作文/ビデオ投稿プロジェクトを実施しておくことが望ましい。 2) 他人のあまり知らない情報が含まれていて、突っ込んでもらえるような紹介文を書くよう指導することが重要。 3) 録音の際には、メモは良いが、読み上げはだめと厳命しておく。 4) 4 人の著名人の画像と名前の部分をカットした音声を使って、クイズを作らせるような課題も可能。 5) 3 人称単数を含む作文では、不規則動詞の活用のミス、所有冠詞の間違いなど、文法的な大きな間違いも徐々に増えてくるので、学生が犯しやすい典型的な間違いについては、個々に、あるいはクラス全体として取り上げ、最終的に残る作品に関してはそうした大きなミスがないものを残せるよう気をつける。 6) 音声の録音方法や投稿の仕方などについては、あらかじめ簡単なマニュアルを作っておく方が、細かなミスによって生じかねない余分な労力を省ける。